

活用効果評価結果

公開版

令和4年度

関東地方整備局 新技術活用評価会議

N E T I S 情 報	開発目標	省人化、経済性の向上																							
	新技術登録番号	KK-160048 -VE				区分	工法				有用な技術の位置づけ				活用促進技術										
	分類	調査試験 - 測量 - 写真測量																							
	新技術名	無人航空機による空中写真測量																							
	比較する従来技術(従来工法)	現地測量																							
活用 効果 評価	新技術の概要及び特徴	本技術は小規模範囲の空中写真測量で無人航空機を利用する作業方法で、従来は現地測量で対応していた。本技術の活用により工期短縮及びコスト削減が図られ、小規模な撮影機材で従来通りの品質の確保が期待できる。																							
	所見	<p>【優れていた所】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>従来技術(TSを用いた測量)に比べ、作業人員・施工日数が軽減されるため、経済性および工程、施工性に優れる。</li> </ul> <p>【劣っていた所】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特になし。</li> </ul>																							
	次回以降の評価に対する視点と評価の必要性	調査表及び施工状況より技術特性が確認でき、継続調査の要件に該当しないため、情報種別記号を「-VE」とする。															項目の平均(点)と従来技術(従来工法)(点)の比較								
	留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>撮影は撮影場所の天候状況が良好な日に実施する。</li> <li>飛行状況が目視で確認できる場所およびその場所への迅速な移動経路が存在し、かつ飛行の障害になるものが存在しないこと。</li> <li>本技術の使用にあたっては、測量法第34条で定める作業規程の準則に準拠していることを確認する必要がある。</li> <li>現地の地形や構造によっては空中写真の死角となり撮影できないことがある。</li> </ul>															<p>参考</p> <p>— 従来技術(従来工法) — 新技術</p>								
活用効果調査表における改良点及び要望	特になし。																								
参 考	対象工事	1	橋梁上部工事	(従来技術: 現地測量)	)	施工者選定型(契約後提案)																			
		2	橋梁下部工事	(従来技術: 現地測量)	)	施工者選定型(契約後提案)																			
		3	道路改良工事	(従来技術: 現地測量)	)	施工者選定型(契約後提案)																			
		4	道路改良工事	(従来技術: 現地測量)	)	施工者選定型(契約後提案)																			
		5	道路改良工事	(従来技術: 現地測量)	)	施工者選定型(契約後提案)																			
		6	河道掘削工事	(従来技術: 現地測量)	)	施工者選定型(契約後提案)																			
		7	築堤工事	(従来技術: 現地測量)	)	施工者選定型(総合評価技術提案)																			
		8	遊砂地整備工事	(従来技術: 現地測量)	)	施工者選定型(契約後提案)																			
		9	築堤工事	(従来技術: 現地測量)	)	施工者選定型(契約後提案)																			
		10	砂防堰堤工事	(従来技術: 現地測量)	)	施工者選定型(契約後提案)																			
		11	河道掘削工事	(従来技術: 現地測量)	)	施工者選定型(契約後提案)																			
		12	施設整備工事	(従来技術: 現地測量)	)	施工者選定型(契約後提案)																			
		13	築堤工事	(従来技術: 現地測量)	)	施工者選定型(契約後提案)																			
		14	土砂撤去工事	(従来技術: 現地測量)	)	施工者選定型(契約後提案)																			
		15	防波堤改良工事	(従来技術: 現地測量)	)	施工者選定型(契約後提案)																			
		16	築堤工事	(従来技術: 現地測量)	)	施工者選定型(契約後提案)																			
		17	河道掘削工事	(従来技術: 現地測量)	)	施工者選定型(契約後提案)																			
		18	区画整理工	(従来技術: 現地測量)	)	施工者選定型(契約後提案)																			
		19	築堤工事	(従来技術: 現地測量)	)	施工者選定型(契約後提案)																			
		20	築堤工事	(従来技術: 現地測量)	)	施工者選定型(契約後提案)																			
	活用 効果 調査 結果	項目	ケース番号および年度	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	項目の平均(点)	従来技術(従来工法)(点)
H31			R1	R2	R2	R2	R2	R2	R2	R2	R2	R2	R3	R3	R3	R3	R3	R3	R3	R3	R4	R4			
経済性			B	B	B	B	A	B	C	B	B	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B	A	A	B	C
工程			B	B	B	B	B	B	B	B	A	B	A	B	B	B	B	B	A	B	A	A	B	C	
品質・出来形			C	-	-	C	-	-	-	A	-	B	C	C	C	-	D	B	C	C	-	-	C	C	
安全性			B	-	-	D	-	-	-	A	-	B	-	C	C	-	B	C	B	-	-	-	C	C	
施工性			B	-	-	B	-	-	B	B	-	B	-	-	B	-	B	B	B	-	-	B	B	C	
環境			-	-	-	-	-	-	-	C	-	C	-	-	C	-	-	-	C	-	-	-	C	C	
その他																									
総合評価点			B	B	B	C	A	B	B	B	A	B	B	C	B	B	B	C	B	B	B	A	A	B	
今後、当該技術を活用出来る工事に活用したいか	今後も是非活用したい		活用を検討したい				場合によっては活用することもある				技術の改良を強く望む				各項目における判定										
	45%		45%				10%				0%				A 従来技術より大幅に優れる										
															B 従来技術より優れる										
															C 従来技術と同等										
														D 従来技術より劣る											
		H26.4以降の活用効果調査表20件で評価																							
追跡調査の必要性	不要																								
追跡調査	-																								